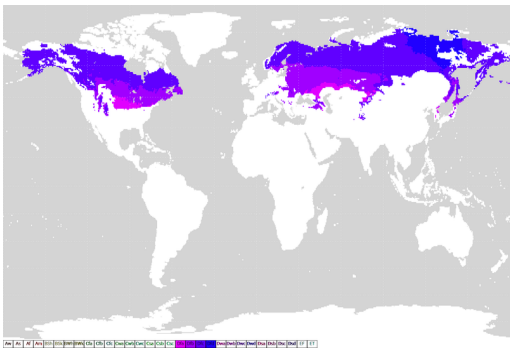
国有林における
NPO団体等活動発表会

発表1
野幌森クラブ　世話人代表　　尾崎　脩
2002. 12. 08

1、野幌森クラブの紹介
　1－1　活動の背景
　　1－1－1、活動フィールド（野幌森林公園）
　　1－1－2、活動への思い
　1－2　活動概要
　　1－2－1、活動項目
　　1－2－2、活動経過
2、ふれあいセンターと連携した取り組み
　2－1「森の再生」
　　2－1－1、種拾い（地域性種の保存）
　　2－1－2、育苗（第2苗畑）
　　2－1－3、森へ移植（のぽぽの森）
　　2－1－4、保育（下草刈り、補植）
3、今後の課題
　　3－1、他の人や組織との連携

1－1－1　活動フィールド（湿潤亜寒帯の南端）



野幌森林公園の位置・周囲状況（石狩平野南端、夕張・馬追・野幌の丘陵地、200万の都会の中の緑の岬・孤島、削られ、何度も再生された人工林）

1－1－2　活動への思い

・広い森であって、
・野生生物（動植物など）が沢山(多種)いて、
・人々がそれを実感できて、
・それが子々孫々まで残っていて、
・・・・・・・ほしい！

活動地点：
- ・交流館周り（放置草原、オタマの池、古井戸跡、第1苗畑）
- ・のぽぽの森
- ・第2苗畑
- ・公園全域

1－2. 野幌森クラブの活動概要

長期目標:
持続する「共生の森」を目指して

1－2－1　活動項目

I.「森の再生」	・地域性種（草木）の保全 ・傷ついた森林の修復
II.「森の住人（生き物）」	・多様な生物の保護・保全 ・住人（生物）の把握
III.「人の交流」	・他者への協力 ・多くの人との協働 ・意見交換の場

１－２－２ 活動経過

Ⅰ. 森の再生 ← 種から森へ
- 交流館周りの植樹・保育 ‘03 ～ ’07
- 第1苗畑(播種・育苗) ‘05 ～ 継続
- ◎「のぽぽの森」(団体型協約)
  - 木の実拾い（公園全域） ‘05 ～ ’10
  - 植樹、草刈（のぽぽの森） ‘05 ～ ’12
  - 第2苗畑(造成、育苗、草取り) ‘09 ～ ’12

Ⅱ. 森の住人 ← 保護。調査
- 野鳥
  - 調査(各コース) ‘99 ～ ’06
  - 餌台(交流館) ‘03 ～ ’10
- 植生
  - 放置草原（交流館） ‘02 ～ ’04
  - 特定地（希少種） ‘09 ～ ’10
- 両生類(交流館北側道路脇)
  - オタマの池保全 ‘01 ～ 継続
  - 産卵調査 ‘02 ～ ’09

1-2活動経過(つづき)

Ⅰ. 人の交流 ← 森への理解の深化と意識の共有
- 意見交換の場
  - 報告会 ‘03 ～ 継続
  - 講演会 ‘07 ～ 継続
  - 夏至祭り等 ‘08 ～ ’11
- 他の団体との協働
  - 蒼樹大学 ‘10 継続
  - シーズネット ‘11
- 一般公募行事
  - 木の実拾い ‘05 ～ ’10
  - 下草刈り(のぽぽの森) ‘06 ～ ’11
  - 森一周ウオーク ‘03 (春夏 年2回) 継続

2. ふれあいセンターと連携した取り組み

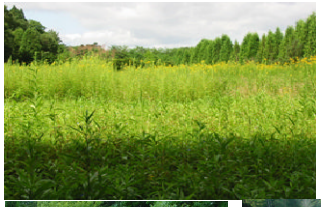
2-1種拾い（地域性種の保存）・一般公募

種の果肉処理・播種(第1苗畑)

シーズトラップ

2-2育苗(第2苗畑:植え替え地)

セイタカアワダチソウ⇒農地



第2苗畑（第1苗畑より移植550本、コナラ、ホー等）

第2苗畑畑明け

植樹・草刈（のぽぽの森　('07＆'12)）

'05の植樹の写真なし。'06の草刈

保育（‘12の草刈、補植）

3、今後の課題

3－1、他の人・組織との連携
・受益者が加害者・破壊者になる？
・基本的価値観の共有のための場（協議会？：赤沢、箕面等）

3－2、ボランティア団体（任意団体≠NPO）
任意団体（理念と情熱のみ）の特性を生かして。。。。。！！！。。。

「持続する「「共生の森」」をめざして」

・せかず、あせらず、あきらめず
・連帯感、充実感、達成感
を、大切に　100年後の森の姿を想像しつつ、力量に合わった
活動を続ける。

さよなら　クラブハウス（‘12. 11）

ご清聴　ありがとうございました。

・121208報告会資料：おしまい：

copy right　野幌森クラブ